

今年度は、富山で受賞作家展
が開催されます。この機会に
「一度とやまに来てみられ」

春陽会富山研究会

研究主任 館 寿弥

2016年度 会員 25名



富山県では、「富山」の地名を「とやま」ではなく「とやま」と平板に発音します。また、他県では「とやま」と発音するところが多いです。ということで、本研究会は、「しゅんようかい とやま けんきゅうかい」と平板に、口を大きく開かず早口に発音して下さい。富山県人のせっかちさが伝わるとと思います。

県民悲願の北陸新幹線が開通し、1年が経ちました。「とやまは近くなりにはけり」ということです。

本研究会のモットーは、「よく飲み、よく学び、よく描く」で、研修会や講評会では、学ぶ姿勢を表に出して探求心をもって参加します。そして、本展、研究会展、小品展だけでなく、様々な会派の仲間とのグループ展や個展なども精力的に行っています。

【写真解説】日本酒にビール、焼酎にワイン・・・どれだけの瓶が並ぶんやと、本県会員の藤井先生にあきれ顔の四谷先生です。(笑)



〈デッサン会〉年に2回、裸婦デッサン会を行っています。以前はスケッチ会なども行い、絵画の基礎となる技能習得の研修としています。

〈夏季研修会〉夏季研修会は、泊を伴いじっくりと時間をかけて研修をします。材料研究や下地研究等の実技を伴った研修会であったり、絵画理論や絵を描く意味等の講義形式の研修会であったり、多種多様な講師の方から、様々なやり方でご指導いただいています。近年では、東先生にはご自身の体験に基づいた絵画論、峰先生には黄金背景テンペラにおける金箔貼りの技法、坂田先生にはご自身の作品をはじめ村井正誠、保田春彦らの作品を元にデッサンについて、三浦先生には、シルバーポイントの実技研とともに、絵画に脈々と流れる文化論をお話いただきました。昨年は、小林先生の絵画の変遷から、描く・描く・描く、そして描くということをご指導いただきました。実技研では、リレー形式で描く中で発想の柔軟さが試されました。

【写真解説】リレー形式で絵を描く、愛の回覧板。全く愛がこもっていないので、愛を込めた描き方を伝授中の小林先生です。(笑)



〈春陽会富山研究会展〉12月に年一回、県民会館美術館において、展覧会を行っています。50号以上の作品を2点程度発表し、本部より講師を招き、公開講評会を行います。公開講評会は3時間程度の限られた時間なので、その後懇親会を設け、引き続き作品の話聞く時間としています。

【写真解説】「ダメなのよね」と言っている四谷先生の横でうなっている富山の会員です。(笑)



〈春陽会富山研究会小品展〉

春陽会富山研究会展と併設したり、夏期に単独で開催したりと時期は変動的ですが、他の研究会との合同点という形でも開催しています。近年では、静岡、長野、神奈川、福島、関西、島根等との交流展を行っています。

【連絡先】 事務局 船木 英明 富山市石金3-4-7 ☎076-492-4639 ☆eimei@yu.incl.ne.jp



春陽会富山研究会

研究主任 館 寿弥

2016年度 会員 25名



色や形、味や匂い、様々なこだわりがある人

お待ちしております

入会を希望される方は、以下の申込書に必要事項を記入いただき、FAXまたはメールで送信下さい。

----- 〈切り取り〉 -----

【宛先】 事務局 船木 英明

FAX 076-492-4639・メール eimei@yu.incl.ne.jp

春陽会富山研究会 入会申込書

※春陽会富山研究会に入会を希望します。

氏名		
住所		
連絡先	電話	
	携帯電話	
	メール	